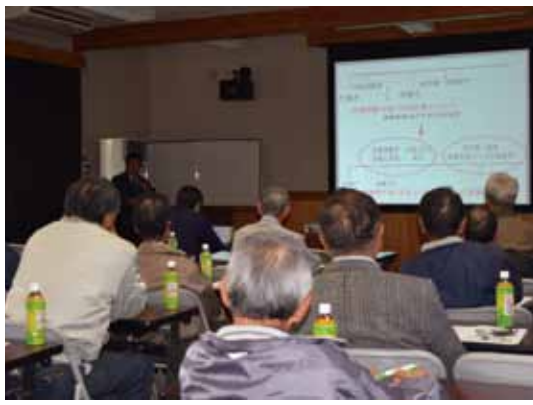


平成28年用肥料・農薬

レベルアップ研修会を開催



良食味米の生産に向け生育管理のポイントを学ぶことを目的に、JAは11月17日と18日の両日、平成28年用肥料・農薬レベルアップ研修会を能代市工業団地交流会館で開催しました。

17日は全農秋田県本部米穀部参与の児玉徹氏による『今年度の稲作の反省と基本技術』などの講演が行われ、今年度の作況指数は103の「やや良」となったが地域差があることに触れ、生育に合わせた栽培管理をするよう呼び掛けました。

また、18日は県農林水産技術センター農業試験場の元上席研究員の深谷氏が、抵抗性を有するいもち病菌が秋田県でも発生しているという状況を説明し、育苗期の防除の重要性について話しました。

2日間に渡った研修会には約100名の生産者が参加し、昨年より40名近く増加しました。生産者からは「来年の栽培へ向け参考になる情報を知ることができた。今回学んだことを生かしておいしいお米を作りたい」と話してくれました。



→栽培技術向上に知識を深めた

冬期間の農機具の整備・点検はお済みですか？

組合員のみなさまへ

農作業が一段落した冬期間は、これまで頑張ってくれた、農業機械の点検・整備を行ってはいかがでしょうか？

JA農機課では、随時点検・整備を受け付けておりますので、ぜひご相談ください!!

また、冬は低温・多湿のため、さまざまな機械でトラブルが起きやすい時期でもあります。

特に次の2点を注意してください。

① 動力噴霧機の水抜き

冬期間は中にたまっている水が凍り、その箇所が破損する可能性があります。一度、ご所有の動力噴霧機内の、水確認をおすすめします。



② トラクター等の燃料残量やクーラント濃度の確認

トラクターやコンバイン等は、タンクの燃料残量が少ないと、温度差によって水滴が発生しやすく、サビの原因になります。また、クーラント濃度を点検することを、おすすめします。クーラント濃度が低いと、凍結してラジエターやエンジンの破損に繋がるので、注意が必要となります。



詳しい内容や点検・整備の依頼については、

能代農機センター 58-3949
二ツ井・藤里農機センター 73-5022

生産履歴記帳運動

安全な農産物を生産するために

*栽培記録は農作業の一つです！

栽培記録は生産者の義務であり、安全な農産物である証明となります。

自分を守るためにも生産履歴記帳を徹底しましょう！

*全体 76.4% 野菜 78.4% 米 75.2%

品目	出荷時期	平成27年11月26日現在				
		生産履歴未付時期	対象者数	生産履歴回収率	生産履歴残り(件)	
アスパラ(露地)	4月下旬	4月外務	9	9	0	100.0%
春ネギ	5月下旬	4月外務	50	50	0	100.0%
初夏種りキャベツ	6月下旬	5月外務	34	34	0	100.0%
キヌサヤ	6月上旬	5月外務	7	7	0	100.0%
かき	6月上旬	5月外務	20	20	0	100.0%
メロン	7月下旬	5月外務	1	1	0	0.0%
きゅうり	7月上旬	6月外務	3	2	1	66.7%
りんどう	9月中旬	5月外務	6	6	0	100.0%
小なす	8月上旬	7月外務	16	15	1	93.8%
スナップエンドウ	5月外務	22	22	0	100.0%	
トマ	8月上旬	5月外務	11	11	0	100.0%
夏ネギ	8月上旬	7月外務	108	108	0	100.0%
みょうが	8月上旬	7月外務	150	150	0	100.0%
シシトウ	9月上旬	8月外務	2	2	0	100.0%
梨	9月上旬	8月外務	7	6	1	85.7%
枝豆	10月下旬	5月外務	4	4	0	100.0%
秋冬種りキャベツ	10月下旬	9月外務	16	3	13	18.8%
秋冬ネギ	10月下旬	9月外務	129	78	51	60.5%
大豆	10月下旬	5月外務	151	102	49	67.5%
アスパラ(促成)	12月上旬	11月外務	10	10	0	0.0%
山うど	12月中旬	11月外務	51	4	47	7.8%
米	9月下旬	8月外務	1,281	963	318	75.2%
能代			793	595	198	75.0%
二ツ井			358	243	115	67.9%
藤里			130	125	5	96.2%
野菜	回収率	合計	807	633	174	78.4%
米	回収率	合計	1,281	963	318	75.2%
全体	回収率	合計	2,088	1,596	492	76.4%

出荷前に必ず提出しましょう！

◆安全安心な農産物づくり推進協議会◆